

# 耳から幹細胞 軟骨再生

人間の耳の軟骨を覆っている膜（通事故で変形した顔面の治療などの中に、軟骨などのもとになる幹細胞があるのを見たと、横浜市立大の谷口英樹教授（再生医学）らの研究グループが8日付の米科学アカデミー紀要電子版に発表した。この幹細胞を培養してつくった軟骨細胞を使い、奇形や交差した幹細胞は耳の裏を1つ四方そき

への応用を目指すという。

現在、顔の変形の治療では主に、肋骨の端にある肋軟骨を取り出して移植する大掛かりな手術が行われている。

取るだけで採取できる。つぶつた軟骨細胞は注射器で患部に注入され、軟骨の形は長期間維持されるとしている。

グループは、動物実験で幹細胞の存在が示唆されていた軟骨膜に着目。特定の2つの分子が多い細胞を発見し、詳しく調べたところ、軟骨などの組織に分化できる幹細胞の性質を持っていることが分かった。